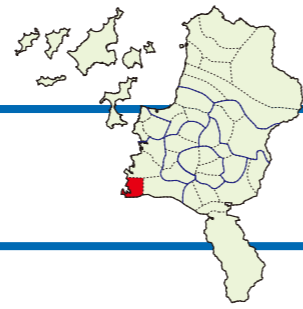


はぶ 垣生地区

面積：4.24km²
人口：12,030人（高齢化率 22.7%）
世帯数：4,977世帯



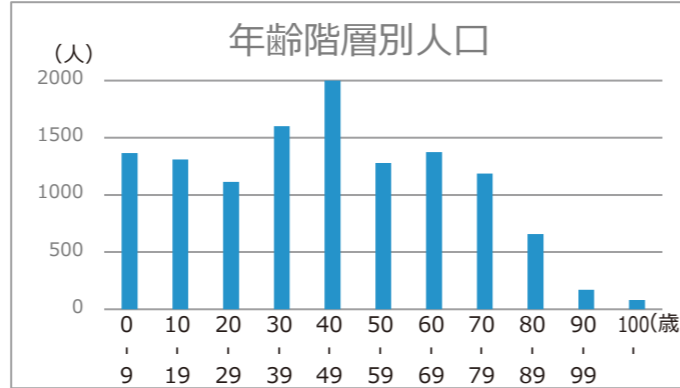
【地区の特色】

松山市の西南端に位置する垣生地区は、南に重信川河口、美しい夕日の落ちる風光明媚な所、年間を通して3,000羽の渡り鳥が羽根を休める。半農半漁のこの町も時代の流れと共に企業や会社人口も増しているが、新旧住民の意志疎通は図られている。

また、地区住民の幸せを願って西国33霊場のお地蔵様が町の角々に建てられているのもこの地域ならではの特色であり、伊予絃の発案者で有名な鍵谷カナの生誕の地でもある。



重信川河口から見る夕日



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 防災関連の活動が活発（防災士、自主防災会、女性防火クラブなど） 俳句の里としての歴史が残っている ・サロン活動が活発 ・子どもの見守り 夏祭り盆踊り大会 ・医療機関が多い ・生活関連施設に恵まれ生活しやすい 公園、グラウンドが多い ・保育園、幼稚園、小中学校が地域に溶け込んでいる 町内会行事の参加者が多い ・ループバス便が15分～20分毎にある 自然が残っている ・公共機関が地区の中央にある ・歴史が豊か 人口が増加している ・児童が増えている ・道路が広い（東垣生） 	<ul style="list-style-type: none"> 集合住宅が多いので連絡が取りにくくなった ごみステーションの問題（ルールを守らない人がいる） 人口の増加により、新旧住民との関係がうまくいかない 交通の便が悪い（高齢者は特に不便） ・ボール遊びする公園が少ない 地域住民が集まれる複合型コミュニティ施設がない ・古い住民と新しい住民が疎遠 公民館が古くなっている（駐車場がない、エレベーターがない、トイレ等の設備が古い） 高齢者が買い物できる場が少ない ・西垣生は生活道路が狭く空き家が多い 若者が町内会に加入しない ・中心部の道路が狭い ・ループバスに南北コースが必要 団体数が多く連携が難しい ・地域色が強すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> 情報が入ってこない ・避難行動要支援者は個人からの申請がないので把握できない 老々介護の方が増えている ・道が狭く救急車が入りづらい（西垣生町内） ループバスが南北にも必要 高齢者と若者で地域への関わり方の意識に差がある 独居の認知症高齢者を地域で支える方法 空港整備で町のつながりが変化してきた ・住所標記ができていない 地域の繋がりが希薄 ・災害時の高齢者のための避難施設の整備が必要

垣生地区社会福祉協議会

構成団体	共同募金会・地区民協・公民館・分館・PTA・更生保護女性会・町内会連盟 女性防火クラブ・高齢クラブ連合会・協議会・防犯協会・レディースネットワーク
主な取り組み	活動内容
特別支援学級児童との交流行事	小学校の特別支援学級に通う児童との交流行事を開催し、りんご狩りなどの学外活動を中心に社会体験の提供に努めています。
高齢者・児童の見守り	小・中学校と連携し夏休み・冬休みにあわせ、夜間パトロールを行っています。
福祉講座の開催	福祉への理解を深めてもらうための研修会を開催しています。

かぎやさい 鍵谷祭

伊予かすりを考案した鍵谷カナの命日である5月28日にあわせ垣生地区で行われている「鍵谷祭」において、公民館と連携してもちつきや販売、サロン作品の展示などを行っています。伝統文化を次世代に伝えるため、地区社協として支援しています。



<地区社協が目指すもの>

垣生地区は、伊予絃の考案者である鍵谷カナ生誕の地であり、また村上霽月や石田波郷、霽月の友人の正岡子規が今出を散策した際の句碑が数多くある伝統と歴史溢れる地区であるとともに、現在は外環状線の整備が進み、それに伴って人口もやや増加傾向にあります。そういった状況を踏まえ、今後は地域がより一体となった活動が展開される必要があると考え、現在、まちづくり協議会が中心となって検討している地区内の複合型コミュニティ施設の整備についても、地区社協として協力しております。今後も地域の関係団体と連携し地域の実情に応じた福祉活動を展開します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	15名 2名	■町内会・自治会・区長会等	51団体
	■まち協の設立	平成26年度	■高齢クラブ	0クラブ
		■子ども会	16団体	
		■自主防災組織	34組織	

人口が増加傾向にあり、Uターンで親や親戚等の元に戻ってくる若い世代が多く、地域になじみやすい環境であることから地域行事への参加も多く、協力的な人が多いです。新旧住民の歩み寄りも地区の弱みとして挙げられていますが、本地区は互いが幸せに暮らせるように、心を砕いている地区です。また、地区社協と地区民協、小中学校と連携した活動を継続的に行っています。垣生地区は、長い歴史と文化のある地区です。今後も、地区社協の構成団体の強みを持ち寄った活動と、地域にある各種団体との協働を深めることで、「みんなでつろう！！笑顔でつなぐ垣生のまち」へと歴史を紡いでいくことが期待できます。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

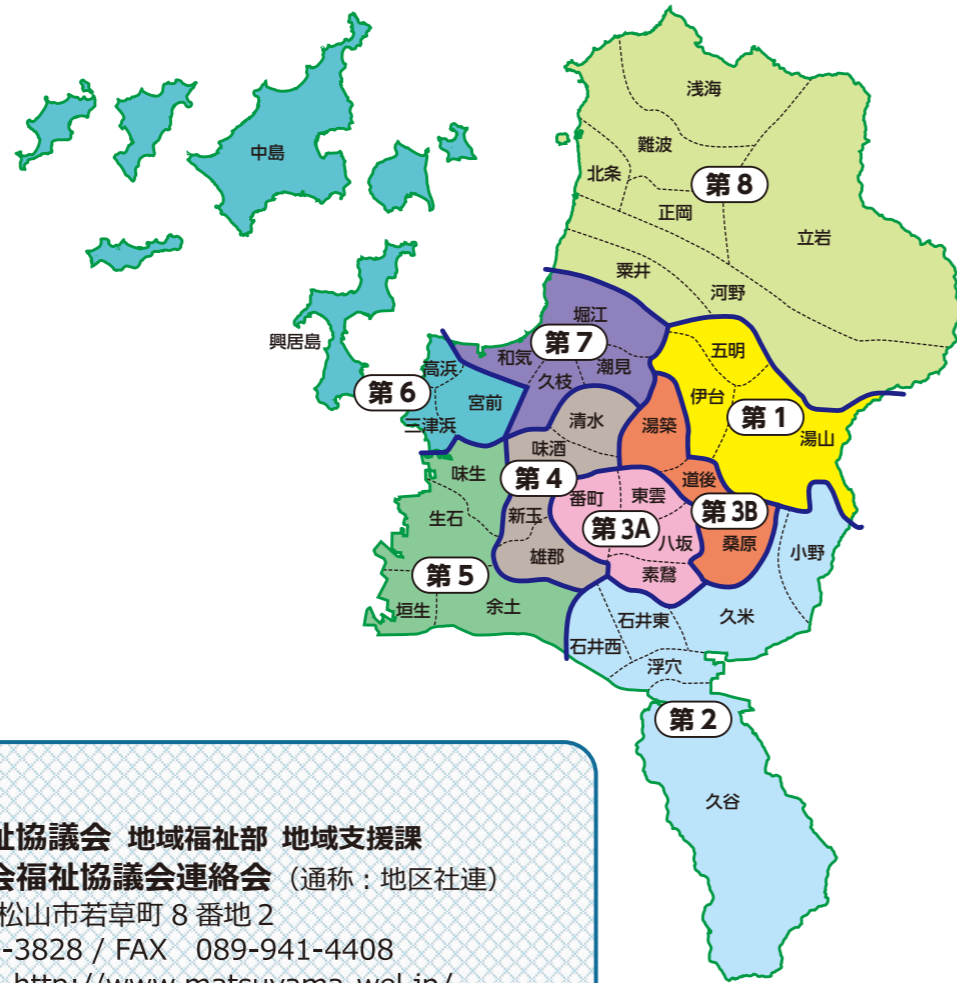
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要
②地域住民からみた地域の状況
③地区社協の概要と取り組み
④地区内関係団体データ
⑤地域福祉推進のポイント

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏